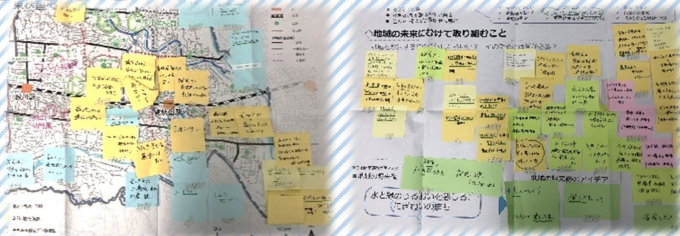


みんなのアイデア

第2回

みんなが進める
地域のまちづくり

東秋留地域



秋川地域



菅生・草花地域



五日市地域



増戸・引田地域



小宮・戸倉地域



小宮・戸倉 地域

地域の魅力	地域の未来に向けて改善したいところ	課題解決に向けたアイデア	将来像のアイデア
	<ul style="list-style-type: none"> 駅前が見通しが悪い 線路沿いの道路が危ない 駅前での自動車と歩行者の接触が心配 東秋留駅前のロータリーや歩道が狭い 商店街から坂道で子供が勢いよく自転車で下りてくる 		
<ul style="list-style-type: none"> 人の住む場所と自然が近い環境 	<ul style="list-style-type: none"> 前田公園、秋留台公園が遊びづらい（広場、砂場がない） 	<ul style="list-style-type: none"> BBQができる公園（秋留台公園） 遺跡を主とした公園づくり（前田公園） 	
<ul style="list-style-type: none"> 緑地や農地が多く落ち着いている（あきる野公園周辺） 平井川→多摩川→秋川と続く遊歩道と街から見渡せる山並み 土のあるところ（畑、土手など） 二宮神社、八雲神社の湧水 いろどり屋、ファーマーズセンター 秋川河川敷 秋川で川遊びができる 台地なので比較的水害や地震に強い るのバスで他地域も行けるようになった 圏央道で神奈川方面へのアクセスが楽 自転車置き場無料は良い 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のイベント等の広報（情報発信）の強化 まちの発信（情報）が少ない ボランティアセンターの発信が弱い（災害時） あきる野市が行っている協働事業についてもっと行政が発信すべき 	<ul style="list-style-type: none"> 協働事業にもっと市民に興味を持ってもらい参加したい人を増やす 自治会の活動を（イベントなど）住民側から行政に発信していく 自治会発信の災害ボランティア活動（住民から行政へ発信する） 災害時の住民同士の声掛け 住民の意識改革 高齢者の災害に対する意識改革が必要（避難意識） 	
<ul style="list-style-type: none"> 町内会に30代40代の若い世帯が抜けている 		<ul style="list-style-type: none"> 若い世帯の自治会への参加を促したい。特に地震、災害等有事の時に地域のつながりは重要 	<ul style="list-style-type: none"> 人と身近な自然の共生
	<ul style="list-style-type: none"> 交通が不便だから住めないと思っている人達が多い（もったいない） 総合医療センターへのバスの本数が少ない バスの運行本数を増やして欲しい（電車の本数が少ないので） 	<ul style="list-style-type: none"> 交通改善して移住してもらう 交通インフラの充実 <ul style="list-style-type: none"> 五日市線 バス 道路 高速道路（高速バス） 高速バスの利用ができるといい るのバスの本数増やして使いやすく 自動車を持っていない層の人たちのためにも公共交通が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な自然（田・畑・池） +人のつながり
		<ul style="list-style-type: none"> 法人税、住民税が増える施策（企業誘致、移住） 地域特性を生かしながら取組みを増やし、税収を上げる 多摩川沿いの工業団地を生かす 自治会主導のまちづくりの活動が必要 住民参加型の地域あきる野の未来を話し合える場を増やすべき まずは地域の声を聴くような場が必要 小中学校や工業団地従業員など幅広く声を聴く 地域団体（町内会）に学校が関わるといい 地域でとれた野菜を使ったイベント⇒農業に関心を持ってもらう 学校の農業学習と市民のボランティア活動を連携できるのでは 学校企業を巻き込んだ取り組み（社員研修で畑仕事とか） るのバスで通えるシェアオフィスの設置、空いているスペースを使う 企業誘致やリモートワーク環境整備で住民を増やす サテライトオフィス整備やその情報に関する発信 ルピアをシェアオフィスに改築し職住近接に あきる野市ならではの教育方針によって人を呼ぶ 過去の商店街のような人の動きが増えたと良い 里山民家（公園）をあきる野にも欲しい ファーマーズセンターを拠点にしたまちづくり 老人ホームを作ると高齢者が増える 子育て世代を対象にした取り組みをすると子育て世代が増える 子育てしやすい環境整備 外国人が住みやすいまちづくりをすすめてもいい（英語教育になる） 福生市が近いので国際的な取組があってもいい 教育水準の向上（公立学校のレベルアップ） 子どもの学力向上に資する取組に力を入れてほしい（住環境+教育） 	<ul style="list-style-type: none"> 稲やかで暮らしやすい 働きやすいまち 音楽とスポーツのまち
	<p>（その他）</p>		

菅生・草花 地域

- 趣味でマウンテンバイクに乗っています
- 丘陵地にある尾根道をよく利用させてもらっています
- 菅生地区のお祭りなどに自分が所属している団体が自治会に入っているため参加させてもらっています
- 慈勝寺の裏から大澄山を登って羽村大橋までの東京都草花丘陵が好き
- 目の前が多摩川の河川で川幅も広くて自然豊かで気に入っている
- 高瀬会館の横の畑道
- 代田橋から草花小学校うらの平井川の川べりが散歩する場所としてとても好きです
- 草花公園は小さな子供を遊ばせるのに安心
- ファーマーズセンター
- 鯉川橋付近はホテルが飛んでいる
- 平井川は整備されていて子供が遊びやすい

- 地域の人たちが集える場所が無い（ちょっとお茶が飲める、気軽に誘える場所）

- 自治会（活動）への参加率が低い
- 若い人が魅力を感じる活動でないし加入もしないし続かない
- 若い世代のリーダーを育成しないと存続しない

- 町内会、自治会に入らないと情報が得られない
- 地域で行っていることをもっと外部に発信することが大事だと思います。菅生歌舞伎など
- どこで何をしているか分からない、誰がなにをしているか分からない
- （市外の人も含む）団体活動において地域から市へまちのためになにができるかを聞いた市の活動を発信してほしい

- 歩道が狭くて歩きづらい
- 南北のバス路線が無い、バスの本数が少ない
- マイカー利用を減らす（免許返納させる）なら代替の交通手段を確保すべき

（その他）

- 自分たちでお茶などのセッティングができる施設、気軽にやりたい。自治会館はカタイ
- 人と人が関わりやすく
- 人と人のつながり、近所の気の合う人たちだけでもお茶会を開く
- 災害時における地域の助け合いが重要
- 身近なスポーツ施設やレジャー施設があるといい（学校の体育館を一般市民に開放）

- 何とかして町内会、自治会への参加率を上げる（情報が得られる、共助、助け合い）
- 産・学・官の取組、小中学校と市がボランティア活動を行う⇒地域の人とのかわりができる
- （小学校、中学校）授業の一環でボランティア活動をさせる、人との交流
- 年配の方の得意なことを教えてあげる、教えてもらう機会。あきるのめぐり
- 子どもたちの交流によって親世代も交流する
- 子どもたちが地域に愛着が持てるような取組み

- あきる野の名所を巡るイベントを町内会で開催しあきる野の魅力を知る
- 里山づくりを体験したい人を募って、畑、林業を経験させる⇒プログラムを作りあきる野の魅力を知ってもらう
- あきる野を巡るバスがあると、もっとあきる野を知ることができる
- あきる野の名所を巡るイベントを町内会で開催しあきる野の魅力を知る
- 今ある山林を利用してスポーツ、レクリエーションなどに利用し、里地里山の新しい利用価値をつくる

- もっと歩きやすく、自転車が走りやすく

- （行政と協働）子どもたちが落ち葉を拾う⇒腐葉土にする⇒農業
- 農地（管理していない）を市が買い取って、管理したい人（手入れしたい人）に世話させる仕組みがあるといい
- 農地を残していくため地域の皆さんが手伝えるようなシステムが出来たらいいな
- 自然を保全していくための仕組みを確立させる（地域資源を守る）
- 財政的に豊かな街になってほしい

- ◆ 平井川で遊びましょう！
- ◆ 自然と文化
- ◆ 市民の交流が豊かなまち
- ◆ 災害に強いまちづくり
- ◆ 共助力のUP！
- ◆ 笑顔でいられるまち
- ◆ 子どもが暮らしやすいまち
- ◆ 「自然」はあきる野市のテーマ

地域の魅力	地域の未来に向けて改善したいところ	課題解決に向けたアイデア	将来像のアイデア
<div data-bbox="19 64 270 142">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ● 土地安くてもあまあ便利 ● 建物ばかりではなく適度に畑や緑地が点在しているところ ● 市役所前のトウモロコシ畑 ● トウモロコシ畑の景観 ● ルピア あきる野っ子 ● こころの ● 五日市地区には素敵なカフェが点在している ● 秋留台公園 ● 運転しやすい道路 ● 雨武主神社本殿の彫刻 ● 旧東秋留橋 ● あきる野は車運転しやすい ● 公園を無償で掃除している方々がいる ● 秋川 ● 秋留台公園の芝生 ● BBQができる ● 公園がある ● 近くにスーパーがある ● 幼稚園と小学校が駅近 ● 歩いて生活できる、近くに施設がある ● ホテルが見られる ● 秋川の川沿い、渓谷 ● 五日市の協同村 	<ul style="list-style-type: none"> ● 秋川駅北口のロータリーが狭い。南口にも ● 圏央道への南北アクセス、R411号の拡幅 ● 生活道路等の改善（歩道、街灯） ● 五日市線の複線化 ● 立川・八王子・東京へのアクセス（あらゆる手段を使って五日市線を複線化してもらいたい） ● 多摩都市モノレールのあきる野市への延伸（JR複線化よりやりやすい） <p>（農業の継承、保全、人の呼び込み）</p> <p>（公園整備）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 歩道を広げ全世代が安心して歩けるように ● 細街路に車が入ってきて危ない <ul style="list-style-type: none"> ● 公園を全世代で使えるように <ul style="list-style-type: none"> ● 秋川周辺の環境維持 <ul style="list-style-type: none"> ● バスの増便。バス（鉄道）の本数が少ないか利用する人がいない ● 「公共交通」を採算面だけで考えるべきではない <ul style="list-style-type: none"> ● 高齢化 ● 若い人が出ていかないよう働く場所を作る必要がある ● 地域コミュニティの希薄化 <p>（その他）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● JRの車両基地を作る <ul style="list-style-type: none"> ● 企業誘致による人の呼び込み ● 市役所周辺の土地活用した企業誘致 ● 広い土地の有効活用による長期的なまちづくり ● 空き家を活用した移住促進 ● 外国人を対象にした観光（インターネット活用したPR） ● 昔からある橋（東秋留橋）の魅力あふれる施設のアピール、イベント ● 五日市線沿線のお祭（三大祭）、神社、旧秋留橋などの観光資源活用 ● 農業（地）を活用した産業（トウモロコシ畑活用） ● 事業（土地区画整理等）に関する市民の意見を聞く場が必要 ● 農業（トウモロコシ）の対外的なアピール ● ファーマーズセンターとの連携 ● 特産品にトウモロコシと栗を入れる⇒農産物をブランド化 ● 歩道の整備とともに公園の公衆トイレを冬場も使えるようにしてほしい。隣の日の出町や青梅市は使えている（あきる野努力不足） ● 公園に落ち葉を肥料にするような施設 ● 住宅内道路は歩行者が優先とする ● 通学路の20km/h制限 ● 整備することでの通過交通が増えるのは避ける（抜け道は×） ● 従来の狭い道路は歩道を片側で広く ● 商店街が呼びかける ● 都の補助金を活用（商店街） ● 行政のきめ細かい地域情報発信 ● ベンチの設置 ● 公園でなく「広場」にして自由度もたせる ● 乳児用のブランコ ● 公園の管理を市ではなく地域の人たちに任せ、ベンチを取入れる ● 高齢者の活用（公園の管理など） ● 必要な整備はしてほしい ● 新たなバスルートと細かいバス停の設置 ● バス鉄道を多くするために人口増加、団地を多く ● 多世代にとって、安全安心な交通サービス ● 新しいコミュニティの形成、インターネットとか？ ● 市外への発信外からのイイネ！評価もらう ● オープンガーデン開催 ● 秋川駅南側の桜時期に出店と休憩できる場所があると桜を見に来る客が増加 ● イベントの宣伝を多く ● 市民が立ち上げたWEBサイトを活用した地域イベントの開催 ● 情報のアクセスしやすくアプリ的なもの（全てをまとめて見られるように） ● 市民のネットワーク団体（イベント開催、サイト） ● 地域団体の活性化 ● 自治会、商店街などの活動強化・連携 ● 災害に強い居住エリアの確保 ● 事前地震対策（シミュレーション） ● 堤防の強靱化（堤防古い） ● 富士山噴火対策 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 災害に強いまち ◆ あきる野市民が安心して住める町 ● 持続可能な町（社会） ● ブランド化 ● 伝統が残る ● 活性化、活気あふれる ● 心地よい ◆ 程よい田舎感 ◆ 田舎の中の都会、ホッとします ◆ いつでもどこでも誰でも交流できる ◆ 多様性の欠如 ◆ 豊かな自然環境と新しい市民コミュニティのハイブリッドタウン ◆ 自主的な市民活動 ◆ 生活者の視点が足りない ◆ 市民力の活用 ◆ 全世代のためのあきる野市

地域の魅力	地域の未来に向けて改善したいところ	課題解決に向けたアイデア	将来像のアイデア
<p>増戸・引田 地域①</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近に農地が多く自然が豊か(野鳥など) 静かな住環境であること 天神社(地元の顔であり古くからのシンボル) 自然の豊かさ 山田大橋から秋川の景観 引田橋から八王子に向かう川沿いに飛来する野鳥 アウトドア活動が豊かに実施できる場所 山田大橋、景色が良く散歩コースにもなる 城山とその周辺 秋留台地(畑) 網代の田んぼ ころりん村が運営(地域交流・連携、人材育成) 小動物が貴重なものが多い(カラル虫) トウキョウサンショウウオの生息地がある村 	<ul style="list-style-type: none"> コンパクトな駅前整備と下水道整備 飲食店が特に少ない、商店街もさびれてきているイオンとか一極集中している うらしま荘、群落地⇒自然が多かった⇒なくなった小さな魅力ある自然⇒守ってほしい(減ってきている) 公園(人工的な)よりは身近な自然を大切にしてほしい 三内川⇒ミゾゴイ(営巣をしていた)⇒木を伐採したら問題になった 小さな自然を大切にしてほしい るのバスの拡充 るのバスの使い勝手を良くしてほしい 車が無いと生活が不便(南エリア)⇒坂が多い(街道沿いは平たんだが) 坂道等で買い物移動が困難 	<ul style="list-style-type: none"> 区画整理でどこにでもあるような街にはしないでほしい 身近なお店がもっとあるべき(コミュニティの場としても) 生活(くらし)と農地の融合 市民に知らせる活動(市民活動として) 身近な貴重な守りたい自然について市を通じて紹介する(知っている人が少ない) 守りたい貴重な自然⇒行政は広報とかで、知っている人は発信を 貴重な自然のある私有地を市が買い取って保全していくようなシステムづくり 私有地(貴重な自然とかがあるところとか)⇒行政の買い取り制度の拡充(基金) ワンボックス程度でOK(細かく入り込む) 交通もボタン一つで呼べるようなシステムを⇒ICTだけでなく簡単なシステム 地域での相互サポート(70代が80代を)市は車両や保険をサポート 高齢者に対する買い物支援、通院サポート。地域での高齢者のサポート 隣家との交流、会話も減り、自治会参加者も減っているため、まずは地域(組)との話す場を増やしていきたい 地域と行政との交流を増やし、地域交流を増やす(小中学校生徒のボランティア参加の場を増やす) 行政担当者の異動を減らしてもらいたい 地域の話し合いの場が減り、会話も減っているため、交流の場を増やす場が必要地域では隣だけでなくその先のもう一軒も声をかけるように(心がけ) まずは身近な清掃活動から、ボランティアから 地域に対応した(学校との連携)ボランティア制度 あきる野の小さな自然や文化財などを市民に知らせる活動をしたい 若い世代のまちづくりの担い手育成 大学との連携 交流の場づくり⇒声かけ(人から人へ)⇒コミュニティ作り 若手の地域支援リーダーの育成⇒多世代型ワークショップの開催 学校のカリキュラムにボランティアの参加等を積極的に取り入れる 災害時の地域の連携、自治体、学校、地域の連携 地域、学生が災害時に連携して対応 石仏めぐり⇒ウォーキング⇒それ以外の文化財にも広げてほしい マネジメントコーディネーターの任命 高齢者の人材発掘 特に大学生は時間体力もある⇒指導する仕組みづくりも NPO法人等の地域支援団体の設立(学校、特支、地域、行政の連携) 地域と学校の連携(専門職が就く) 組織作り、人材発掘⇒地域に応じて学校行政が連携 人材活用に向けた人の経験履歴の整理。わかるようなシステム イニシアティブを取る人の応援 市民の意見を「行政に直接伝える機会の創出 高齢者が若者世代の子供を預かる施設、機会 農協等を活用した交流の場づくり 定期的にいろいろな人が参加できるイベントが欲しい 場所も人も農協等が中心になってご飯が食べられ団らんができるコミュニティの場の創造 市民が意見を交換できる場⇒行政の取組につなげる 様々なテーマについて気軽に話し合い、学び合える開かれた場や空間が多数ある街 施設や売りをニーズに合わせて定期的に更新 昔からあるものを残しながら有効活用 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ (貴重な)農地と(貴重な)自然を大切にす、地域の連携のあるまち ◆ 文化・伝統 ◆ 自然共存と住民の交流が高いまち ◆ 自然と文化の共生へ ◆ 誰もが笑顔で元気あふれるやさしいまち ◆ 小さな自然を大切にす町、老人も子供も過ごしやすい人と人の触れ合いのあるまち ◆ 人をさらに呼び込んでイベント等に参加してもらう ◆ いつでもどこでも誰もが永く住みたい街!! ◆ 高校大学の誘致(秋川高校跡地) ◆ 「ゆったり住む」→「ゆったり過ごす」(リフレッシュ) ◆ +安心安全、楽しい豊かなまち

地域の魅力	地域の未来に向けて改善したいところ	課題解決に向けたアイデア	将来像のアイデア
<p>増戸・引田 地域②</p>	<p>(健康・医療・福祉)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ボタン一つでつながるようなシステムを • 地域医療制度やシステムの改革（地域医療ネットワークシステムの拡充） • 災害復興時におけるボランティアの派遣制度の構築※除雪等の対応 • 交通アクセスの向上（利便性） • 秋留台公園のグランド人工芝化 • 近隣、市、地区の単位での細やかなシステムで（医療福祉） 	
	<p>(情報発信)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 行政のまちづくり方針の周知 • イベントの積極的な広報（ガールズキャンプなど） • 地域の資源化を生かした取り組みの推進、発信 	
	<p>(その他)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 行政は10年ぐらいのスパンでその仕事に関われるシステムへ • 五日市線の増発、交通手段アップ、循環バス路、線増加、増便、改良、改善のステップには役割分担、合意形成 • あきる野ならではの生活スタイルの対外的アピール • 持続可能かどうか、身の丈、まちにふさわしい • 若者も老人も楽しめる町であってほしい • 秋川高校の有効活用（大学誘致など） • 今までの教訓（映画祭が無くなったこと等）からソフトの総合的なビジョン 	

五日市地域

<ul style="list-style-type: none"> ● 交通の便が悪くても静かに暮らせる ● 外部（移住者）の人も活動している 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口減少、企業の誘致が必要 ● パーク跡地（農協）の活用検討 ● BBQランドの活用 ● 駅前の駐車場の使い方の工夫（機能配置） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 駅前開発と商店街とが連携できるといい ● 行政と異なる意見も受け入れて協働していく 	
<ul style="list-style-type: none"> ● 秋のお祭りが盛り上がっている ● 整骨院に通っている ● 駅前で市場の開催（JRと協働） ● まちづくりの動きはある ● 深沢地区の山里風景 ● あじさい山 	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光客が立ち寄るところが無い ● 車でちょっと寄りたいたいところが無い（お土産物とか） ● 観光客が消費できる場所が無い「目的地」だけになっている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 立ち寄りたくなる店 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 財政面を改善しないと何もできない ◆ 歩いて気持ちのいい景観のまち ◆ 今ある資源を活かす ◆ 静かな時間の流れる町を散歩したくなる町「歩きたくなる町」
<ul style="list-style-type: none"> ● 小さな美術館 ● 土蔵 ● 武蔵五日市駅へ向かう秋川橋・五日市橋から眺める風景 ● 山並み ● 清流 	<ul style="list-style-type: none"> ● 外から来る若い人の受け皿がない ● 行政は「やりたい人」を支援すべき ● まちのいいところをなくさないでほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ● 若い人が働ける場所を作る ● 市民の活動の継続支援 ● 今の活動を続けていくべき。人はすぐには変わらない 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 心身の健康 ◆ 高齢者、障がい者等様々な人々がつながり働く仕組み ◆ 自然／文化の強みを活かす
<ul style="list-style-type: none"> ● 駅近くにスーパーもあって暮らしやすい ● 商店街の活動が活発 ● イベント多い ● 中央公民館、五日市出張所 ● 講演会、ミニコンサート、料理教室等のイベントがある 	<ul style="list-style-type: none"> ● 住んでいる人がちょっと休憩する所がない 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新しいお店が出来ているそういうところが、交流の拠点になるといい ● 健康寿命を延ばすしくみ・条件を整備する ● 社会参加の機会がある→仲間ができる ● 地元のネットワークによって交流が生まれる ● ネットワークを強くする 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ インクルージョンの風土づくり ◆ （住民も含めて） ◆ 五日市の資源を活かしたまちづくり ◆ （自然、文化）
<ul style="list-style-type: none"> ● 温泉がある（2か所） ● 地域を活発にしたい ● まちの動きがある（自治会など） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光客の増加による交通渋滞 	<ul style="list-style-type: none"> ● 鉄道の本数を増やす（行き先を変えるとか） ● 近所同士で交通手段を共有一緒に買い物等 ● 高齢者の足を確保（シェア）する ● 必要な時に格安で使える仕組み ● モビリティのシェア 	

小宮・戸倉 地域

<ul style="list-style-type: none"> ● 空が広い、畑が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ● 空き家が表に出ない、潜在的にはありそう ● 住居 資源利用 ● 移住者を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ● 移住者事例の活用で誘導、宣伝 ● 活動をPRしてシェアして広げる仕組みづくり ● 空き家登録、紹介制度 ● 支援の種類を増加 ● ボランティア 	
<ul style="list-style-type: none"> ● 山・畑・街が隣あって共存しているところ（戸倉周辺） ● 秋川（生活クラブ協同村のあたり） ● 山や川が近い ● ムラサキツツジ ● 桜 ● 徳雲院 	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者の施設（外に出て交流しない） ● こども⇄高齢者の交流 	<ul style="list-style-type: none"> ● お年寄りの会合の中に年齢制限をなくす ● 日の出ゲートボール練習場の横に遊び場（屋根が掛かっている） ● ドッグラン、交流の場 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 自然環境を上手に利用し、皆で楽しめる、楽しむまち ◆ もともと地域に存在している技術ノウハウを新住民にきちんとつなぐ
<ul style="list-style-type: none"> ● 座禅の普及 ● 心と頭、脳の訓練 ● 秋川の乙津橋上流付近 ● 水が綺麗。鮎が見える。深淺があり夏川遊びに最適 	<ul style="list-style-type: none"> ● 歩けなくなった時の移動手段 ● 住んでいる人の交通の便（バス）（災害への取組） ● 買い物の足何とかできないか 	<ul style="list-style-type: none"> ● 堂々と人にお願ひできるシステム（ちょっとしたお礼で） ● ファミリーサポート（仲介）を拡張 ● 高齢者の移動、地域も拡張 ● 地域の実情に応じた仕組みづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 持続可能 ◆ 空気が良いので深呼吸を ◆ 人も水も緑も土にかえる迄楽しむあきる野の森
<ul style="list-style-type: none"> ● （乙津花の里）春は山全体に紫つつじ、桜が咲き見事です ● （馬頭刈山）去年東京都広報紙に市町村に一山を選び東京都がアッセンシスポンサーに40万円寄付してもらい山道整備 	<ul style="list-style-type: none"> ● 生態系の保全と管理 ● 資源のシェアできないか？（薪等） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 野菜直売スタイルで薪を安く置いて売る ● 薪を乾燥する施設をシェアできる ● 間伐材を薪として利用 ● 自然と暮らす宣言（薪、登山、魚、クライミング、釣り→イメージ戦略） ● 周辺隣接自治体住民へPRになる⇒魅力を感じてもらう ● 環境宣言 CO2 ゴミゼロ 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 自然環境と調和した暮らしを實踐できる地域
	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光客への便、トイレの充実（マナーの良くない観光客） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光客・地域の住民誰もが気軽に利用できる屋内屋外の場所を、点々とつくる 	